
小金井市
子ども・子育て支援に関するニーズ調査
報告書

概要版

令和6年3月

小金井市

◆ 調査概要 ◆

1 調査の目的

教育・保育・子育て支援に関する利用状況や今後の利用希望等を把握し、お子さんが健やかに成長できるまちとなるよう、更なる子どもと子育て家庭の支援の充実を推進する小金井市子ども・子育て支援事業計画である「のびゆくこどもプラン 小金井」（令和7年度から令和11年度まで）を策定するための基礎資料とすることを目的に、調査を行いました。

2 調査対象者

- ア) 就学前児童の保護者：住民基本台帳から無作為に抽出した 2,000 人
- イ) 小学校児童の保護者（小学校児童本人を含む。）：住民基本台帳から無作為に抽出した 1,500 人
- ウ) 中学校・高校年代の青少年の保護者：住民基本台帳から無作為に抽出した 1,250 人
- エ) 中学校・高校年代の青少年：住民基本台帳から無作為に抽出した 1,250 人
- オ) ひとり親家庭の保護者：住民基本台帳から無作為に抽出した 500 人

3 調査期間

令和5年12月26日～令和6年1月25日

※WEBは令和6年1月31日到着分、郵送は令和6年2月5日到着分まで集計。

4 調査方法

配布・回収方法：郵送配布、調査票の返送もしくはWEBページから回答するインターネット方式

5 配布数と回収状況

区分	標本数	有効回答数 全体/郵送/WEB	有効回答率 全体/郵送/WEB
ア) 就学前児童の保護者調査	2,000 人	1,059 通/630 通/429 通	53.0%/31.5%/21.5%
イ) 小学校児童の保護者調査 (小学校児童本人調査を含む。)	1,500 人	654 通/435 通/219 通	43.6%/29.0%/14.6%
ウ) 中学校・高校年代の青少年の 保護者調査	1,250 人	586 通/378 通/208 通	46.9%/30.2%/16.6%
エ) 中学校・高校年代の青少年の 調査	1,250 人	411 通/283 通/128 通	32.9%/22.6%/10.2%
オ) ひとり親家庭の保護者調査	500 人	204 通/146 通/58 通	40.8%/29.2%/11.6%
合計	6,500 人	2,914 通/1,872 通/1,042 通	44.8%/28.8%/16.0%

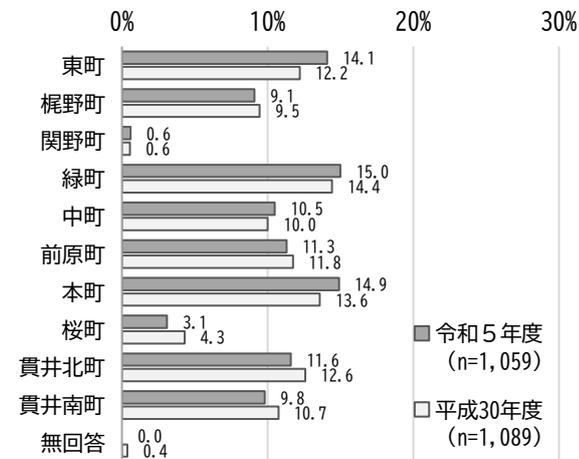
6 調査結果の表示方法

- 集計は、小数点以下第2位を四捨五入しています。したがって、数値の合計が 100.0%にならない場合があります。
- 回答の比率(%)は、その質問の回答者数(n値)を基数として算出しています。したがって、複数回答の設問はすべての比率を合計すると 100.0%を超える場合があります。
- 本文や図表中の選択肢表記は、語句を短縮・簡略化している場合があります。
- 本文中で、比率の比較をする際には、ポイント(小数点以下第2位を四捨五入し、小数点第1位で示しています。)と表記しています。
- クロス集計の実施については、クロス集計の軸となる項目を、各設問から再集計して設定しています。
- クロス集計については、原則として「無回答」を除いています。また、「その他」や回答者数が少なく、統計上有意でないと判断した項目などは、適宜除外しています。
- クロス集計結果についてのコメントは、回答者数が少なく、統計上有意でないと判断した項目については省略しています。
- 帯グラフについては、数字が重なると読解できなくなることから、3.0%未満の数値の表記は省略しています。
- 前回比較の棒グラフにおいて、数値のない項目は、前回にはなかった項目です。
- 項目内の「()」はスペースの関係で一部除いてあります。

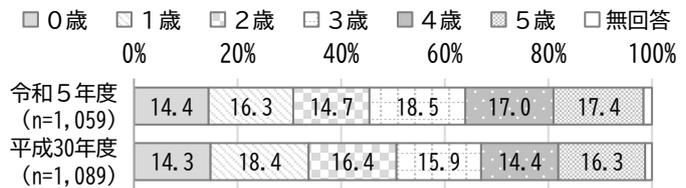
ア) 就学前児童の保護者調査

A. 宛名のお子さんご家族の状況について

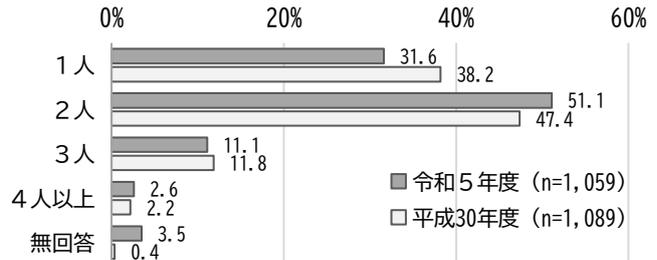
● お住まいの地区



● 年齢（令和5年4月1日現在）

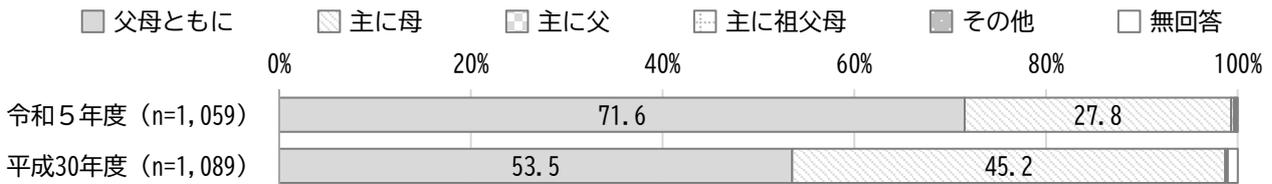


● きょうだいの人数



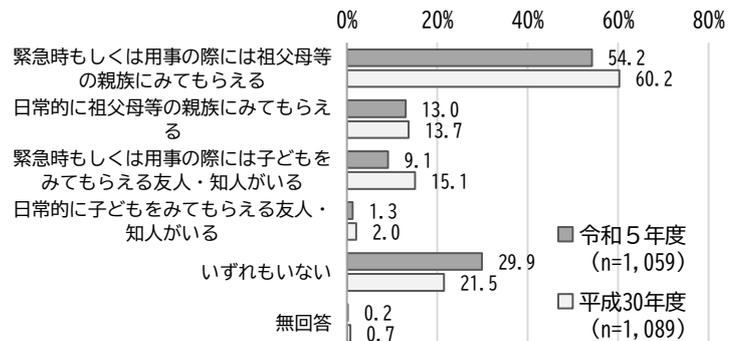
● お子さんの子育てを主に行っている方

「父母ともに」の割合が71.6%と最も高く、前回と比べても割合が増加していることから、父の育児参加が進んでいることがうかがえます。



● 日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人の有無

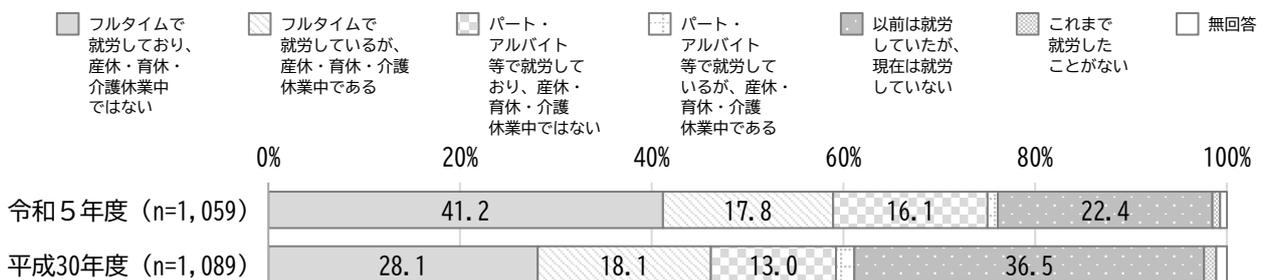
「緊急時や用事があるときにお子さんをみてもらえる祖父母等の親族がいる」が54.2%と最も高く54.2%となっていますが、前回よりも減少しています。また、次いで「いずれもない」が29.9%となっていますが、前回よりも増加しており、子育ての孤立が進んでいることがうかがえます。



B. お子さんの保護者の就労状況について

● お子さんの保護者の現在の就労状況

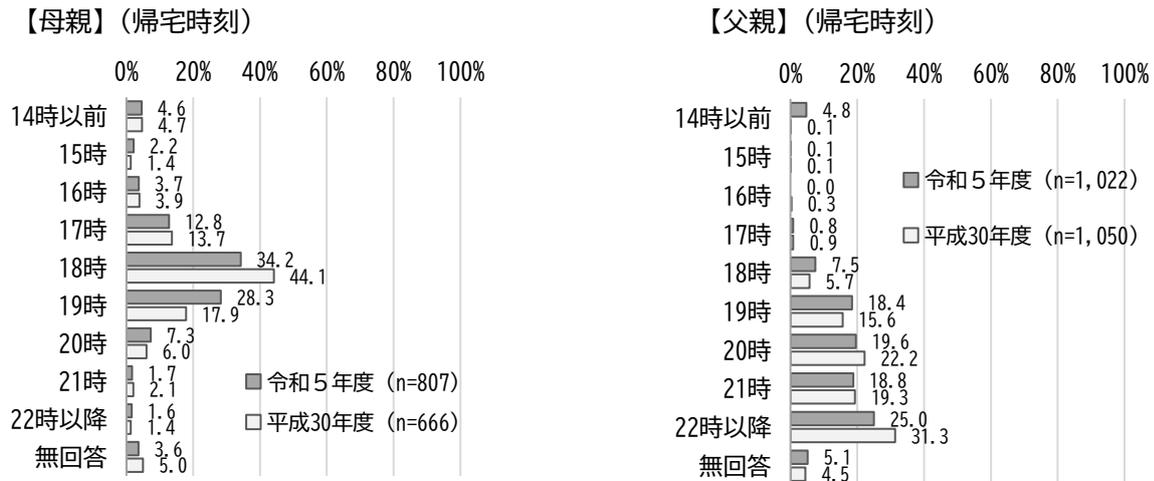
母親の就労状況について、「フルタイムで就労（産休・育休・介護休業中ではない）」が41.2%と前回よりも増加しており、母親の社会進出が進んでいることがうかがえます。



ア) 就学前児童の保護者調査

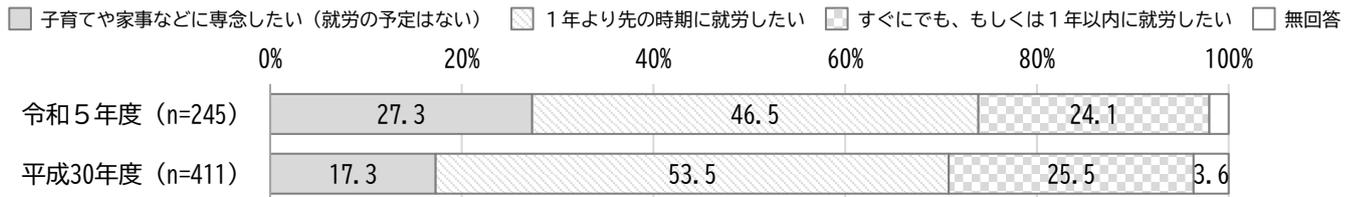
● 帰宅時間について

母親の帰宅時間はやや遅くなっているのに対し、父親はやや早くなっている傾向がありあす。



● 就労していない母親の今後の就労希望

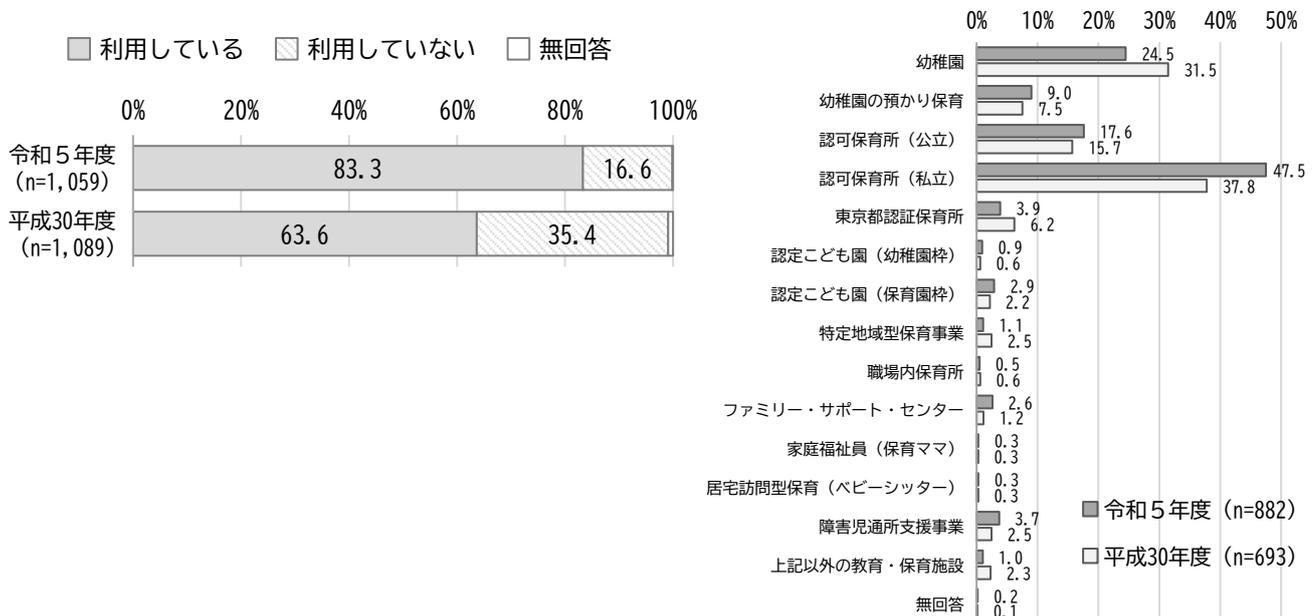
母親の就労希望について、「1年より先の時期に就労したい」の割合が46.5%と最も高く、次いで「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」の割合が27.3%となっています。また、前回と比べて、「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」の割合が増加しています。



C. 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

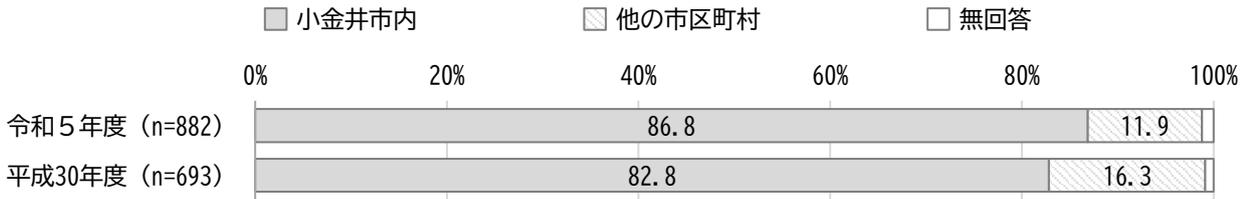
● 平日の定期的な教育・保育の事業の利用状況と利用している主な教育・保育事業

幼稚園や保育所などの定期的な教育・保育の事業の利用について「利用している」が83.3%と最も高く、前回よりも増加しています。また、平日に利用している主な教育・保育事業について、「幼稚園」は前回よりも減少している一方、認可保育所は公立も私立も増加しており、教育から保育へのニーズの移行があることがうかがえます。



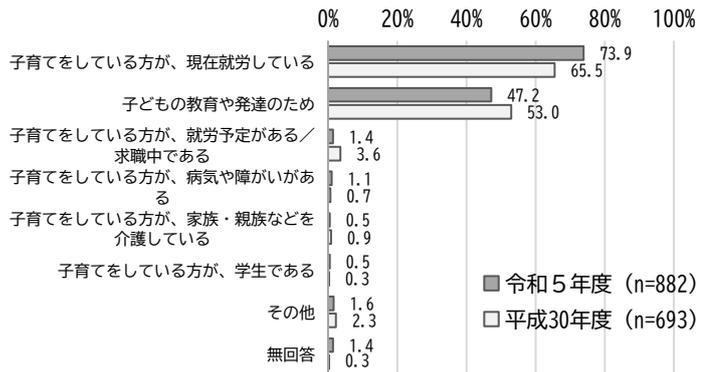
● 現在利用している教育・保育事業の実施場所

現在利用している教育・保育事業の実施場所として、「小金井市内」が 86.8%と最も高く、前回よりも増加しています。母親の就労のフルタイム化により、近場で保育してもらいたい、というニーズが高まっていることが考えられます。



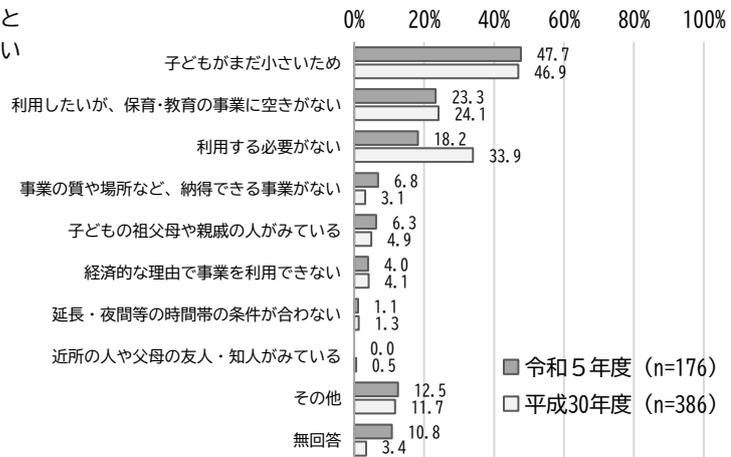
● 利用している主な理由

平日に教育・保育事業を利用されている主な理由として「子育てをしている方が、就労している」が 73.9%と最も高く、前回よりも増加しています。



● 利用していない主な理由

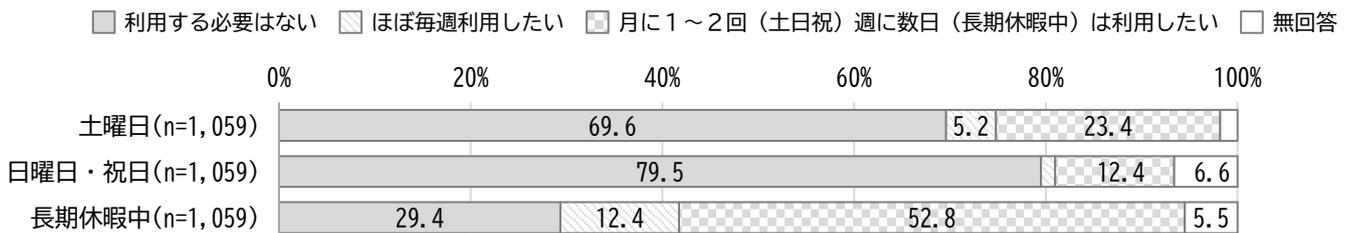
平日に教育・保育事業を利用していない主な理由として「利用する必要がない」が前回よりも減少しています。



D. お子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について

● 土曜日、日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望と長期休暇期間中の利用希望

休みの時の定期的な教育・保育の事業の利用希望について、「長期休暇中」は積極的に利用したいと考えていることがうかがえます。また、「土曜日」と「日曜日・祝日」では、「土曜日」のほうが利用意向は高いことがうかがえます。

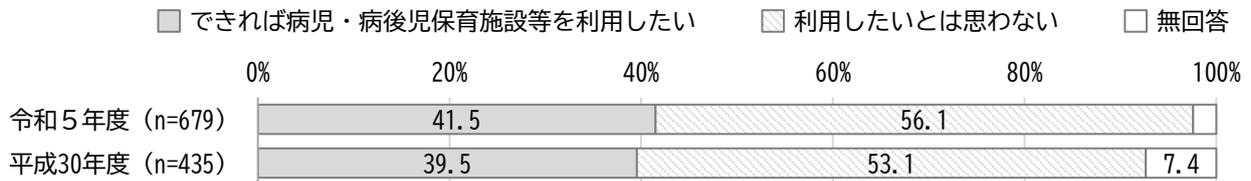


ア) 就学前児童の保護者調査

E. お子さんの病気の際の対応についてうかがいます。

● 子どもの病気で父親または母親が休んだ時の「病児・病後児のための保育施設等」の利用希望

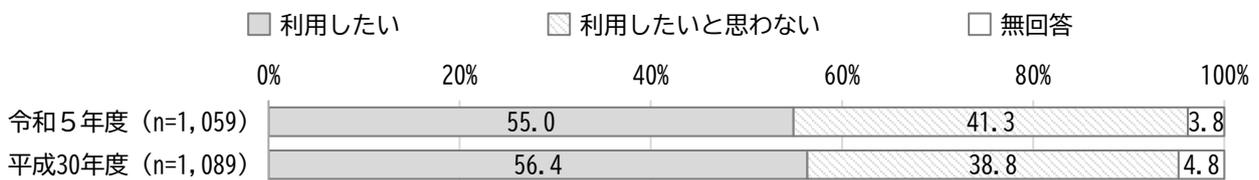
できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したいと思うかについて、「利用したいとは思わない」の割合が 56.1%と最も高く、前回よりもやや増加しています。



F. お子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

● 今後の私用、親の通院、不定期の就労等の目的による一時預かり等の事業の利用希望

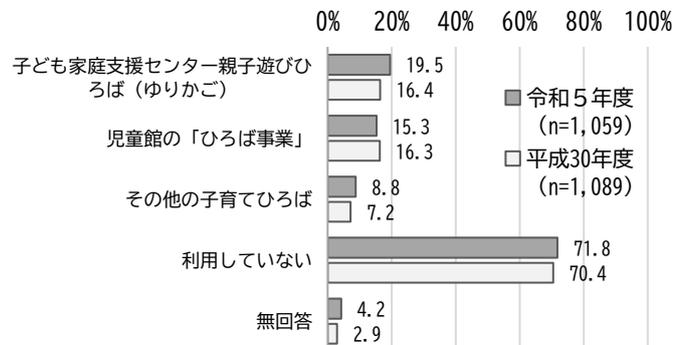
私用、親の通院、不定期の就労等の目的による一時預かり等事業の利用意向について、「利用したい」の割合が 55.0%と最も高く、前回よりもやや減少しています。



G. お子さんの地域の子育て支援事業の利用状況について

● 「子ども家庭支援センター親子遊びひろば（ゆりかご）」や、児童館の「ひろば事業」等の利用状況

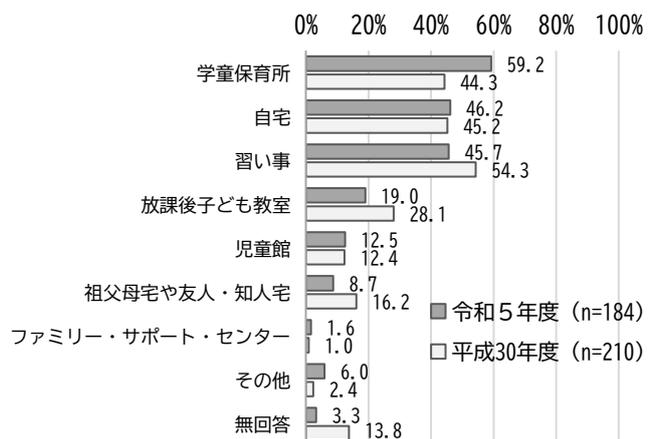
現子ども家庭支援センター親子遊びひろば(ゆりかご)や、児童館の「ひろば事業」等を利用しているかについて、「子ども家庭支援センター親子遊びひろば(ゆりかご)」の割合が 19.5%となっており、前回よりも増加しています。



H. お子さんの小学校就学後の放課後の過ごし方について

● 小学校就学後、放課後（平日の小学校終了後）の時間で過ごしてもらいたい場所

放課後（平日の小学校終了後）の時間をどこで過ごさせたいかについて、「学童保育所」の割合が 59.2%と最も高く、次いで「自宅」の割合が 46.2%となっています。また、前回と比べ、「学童保育所」の割合が増加している一方、「習い事」の割合は減少しています。

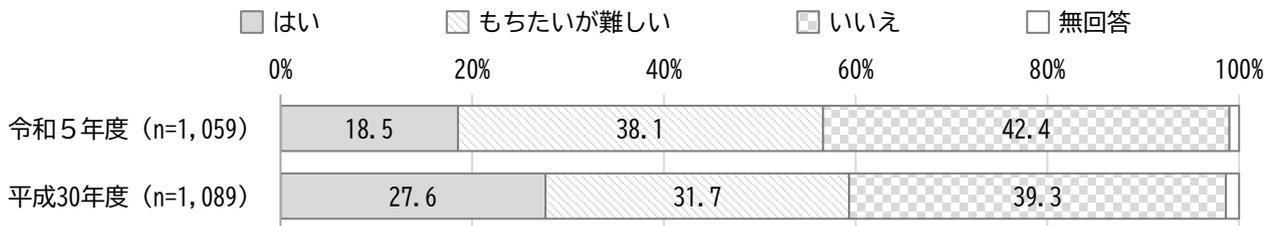


※「I. 子どもの権利について」は 19 ページに記載

Ｊ．子育て全般について

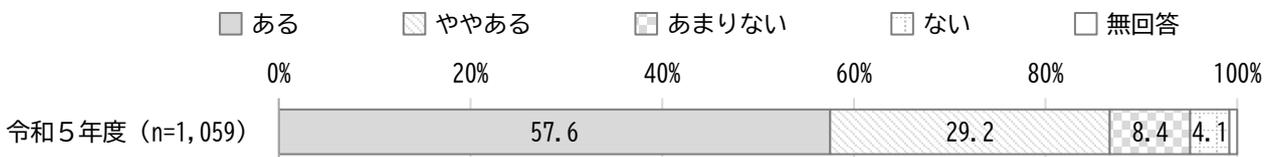
● 今後新たに子どもをもちたいか

新たに子どもをもちたいかについて、「いいえ」の割合が42.4%と最も高く、前回よりも増加しています。次いで「もちたいが難しい」の割合が38.1%となっており、こちらも前回よりも増加しています。



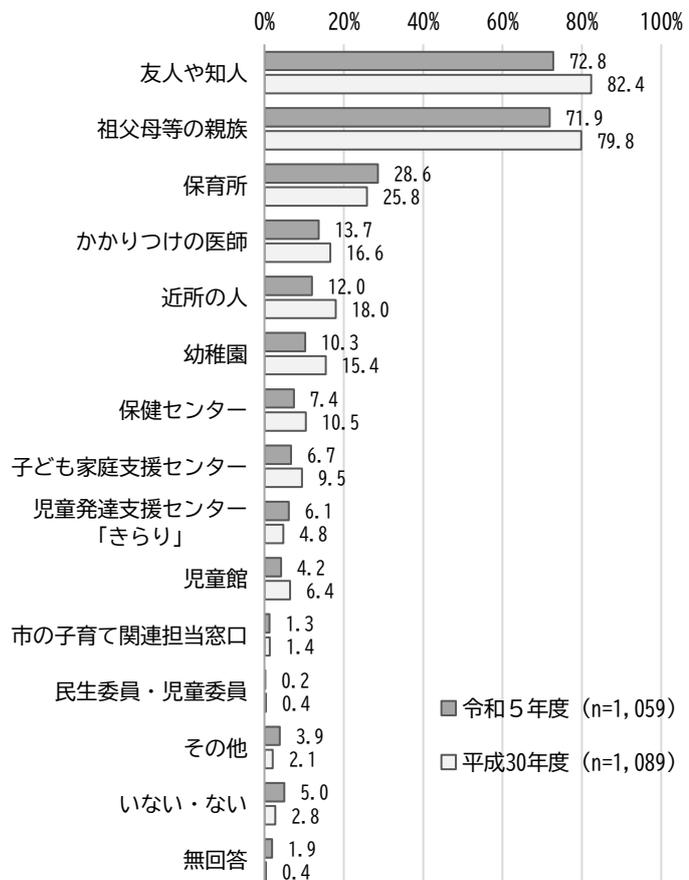
● 子育て・教育にかかる費用負担への不安

子育て・教育にかかる費用負担への不安について、「ある」の割合が57.6%と最も高く、次いで「ややある」の割合が29.2%となっています。



● 子育て（教育を含む）をする上での相談できる人や場所

子育て（教育を含む）をする上で、相談できる人や場所として「友人や知人」が72.8%と最も高く、次いで「祖父母等の親族」が71.9%となっています。



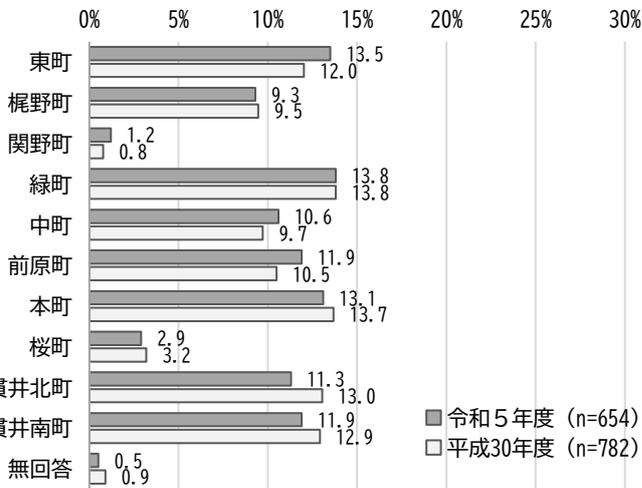
※「K. 子育て環境や支援」は18ページに記載

イ) 小学校児童の保護者調査 (小学校児童本人調査を含む。)

イ) 小学校児童の保護者調査 (小学校児童本人調査を含む。)

A. 宛名のお子さんご家族の状況について

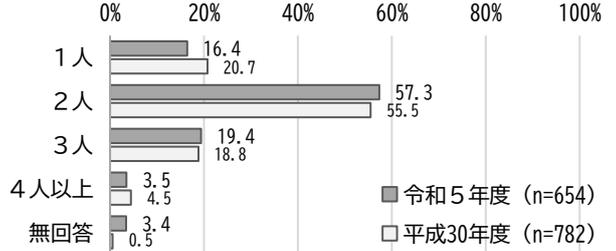
● お住まいの地区



● 年齢 (令和5年4月1日現在)



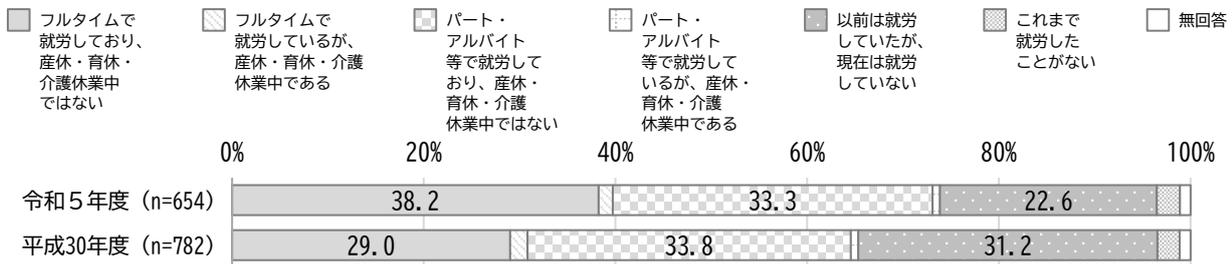
● きょうだいの人数



B. お子さんの保護者の就労状況について

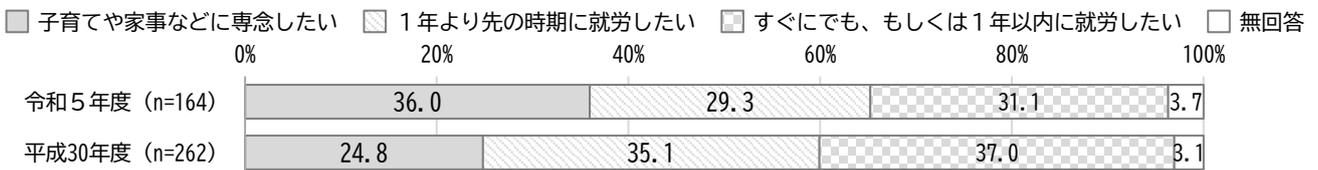
● 母親の現在の就労状況

母親の就労状況について、「フルタイムで就労 (産休・育休・介護休業中ではない)」が38.2%と前回よりも増加しており、母親の社会進出が進んでいることがうかがえます。



● 就労していない母親の今後の就労希望

母親の就労希望について、「子育てや家事などに専念したい」の割合が36.0%と最も高く、次いで「すぐにも、もしくは1年以内に就労したい」の割合が31.1%となっています。



C. お子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

● 一時預かり等の事業の利用希望

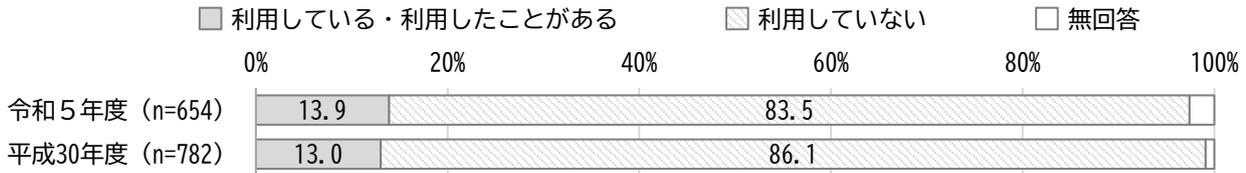
今後、私用、親の通院等で、一時預かり等の事業を年間何日くらい利用したいかについて、「利用したいと思わない」の割合が72.9%となっています。



D. ファミリー・サポート・センターの利用について

● ファミリー・サポート・センターの利用について

ファミリー・サポート・センターの利用率について、「利用していない」の割合が83.5%となっています。

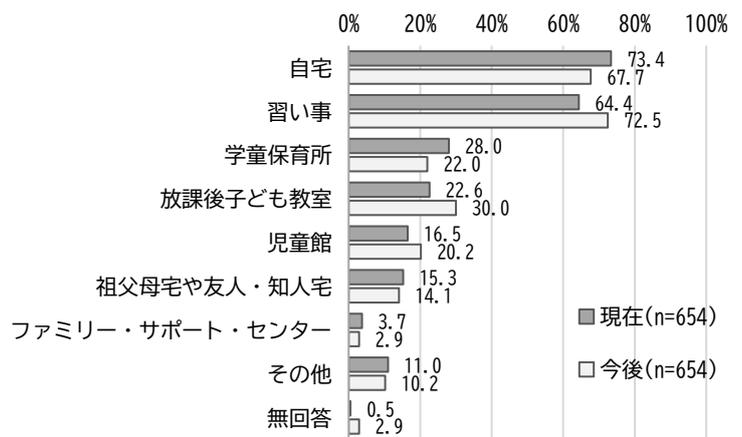


E. お子さんの放課後の過ごし方について

● 現在、放課後（平日の小学校終了後）の時間を過ごしている場所と、今後過ごさせたい場所

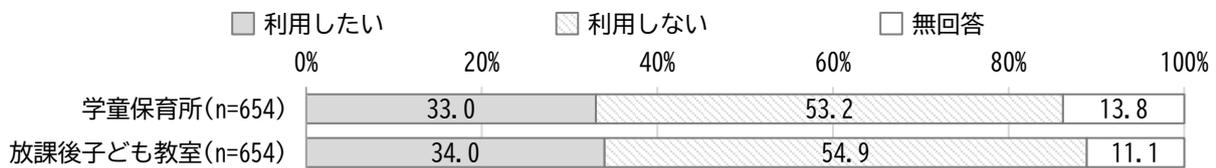
放課後（平日の小学校終了後）の時間で過ごす場所として「自宅」が最も高く73.4%となっており、次いで「習い事」が64.4%となっています。

また、今後、どのような場所で過ごさせたいかについて、「習い事」と回答した方が最も高く72.5%となっています。現状としては自宅で過ごしているお子さんが、今後はできるだけ習い事で放課後を過ごしてほしいという希望が多いと推察されます。



● 今後の学童保育所・放課後子ども教室の利用希望

現在利用していないが、今後、学童保育所を利用したいか、放課後子ども教室を利用したいかについて、それぞれ約3割が「利用したい」と回答しています。

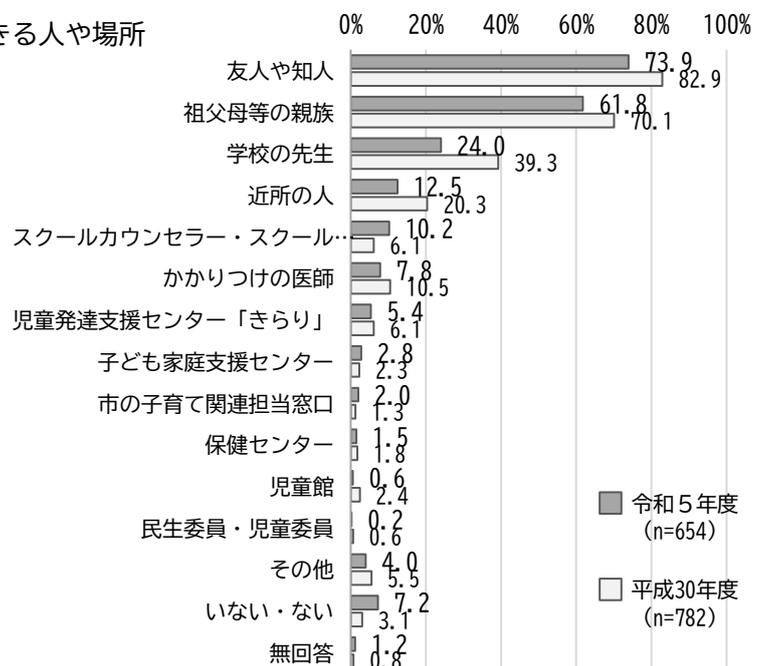


※「F. 子どもの権利について」は19ページに記載

G. 子育て全般に関して

● 子育て（教育を含む）をする上での相談できる人や場所

子育て（教育を含む）をする上で、相談できる人や場所があるかについて、「友人や知人」の割合が73.9%と最も高く、次いで「祖父母等の親族」の割合が61.8%となっています。



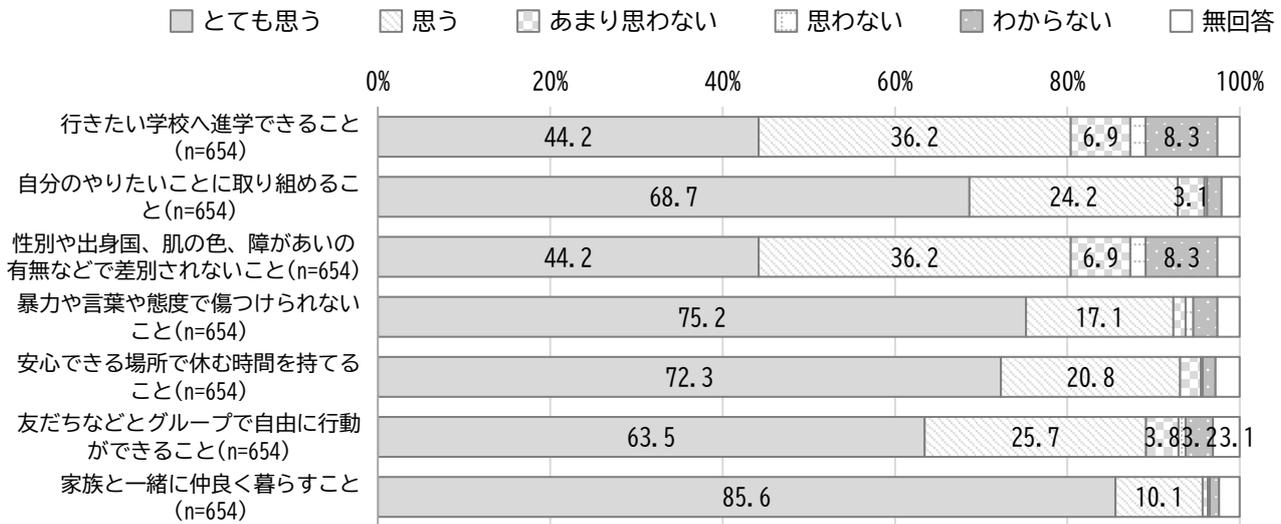
※「H. 子育て環境や支援」は18ページに記載

イ) 小学校児童の保護者調査 (小学校児童本人調査を含む。)

子ども子育てアンケート (小学生のみなさん向け)

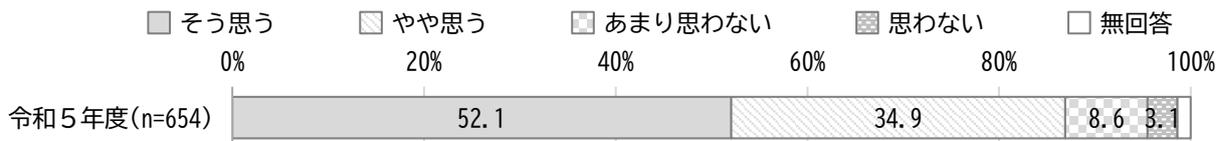
● 大切だと思うこと

「とても思う」が最も多いのは、「家族と一緒に仲良く暮らすこと」、次いで「暴力や言葉や態度で傷つけられないこと」となっています。



● 自分のことが好きか

自分のことが好きかについて、「そう思う」の割合が52.1%と最も高く、次いで「やや思う」の割合が34.9%となっています。



● 「ここに居たい」と感じる場所があるか

家や学校以外に「ここに居たい」と感じる場所について、「ある」の割合が69.7%となっています。



● 将来の夢はあるか

将来の夢について、「ある」の割合が71.7%となっています。

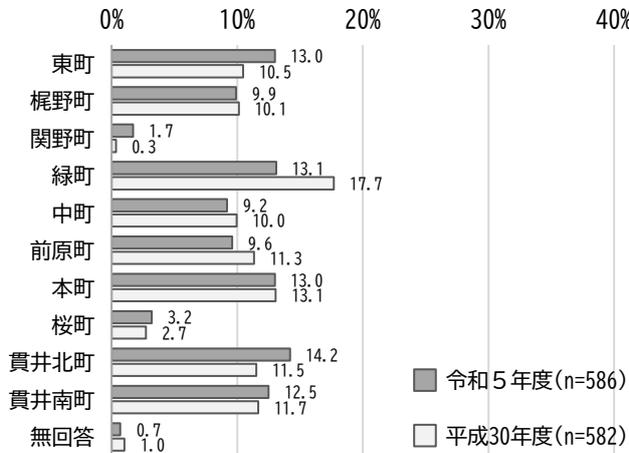


※一部設問は17、18ページにも記載

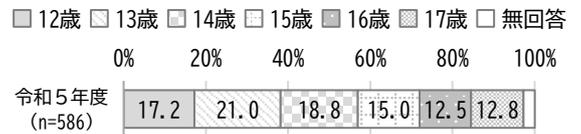
ウ) 中学校・高校年代の青少年の保護者調査

A. 回答者属性

● お住まいの地区



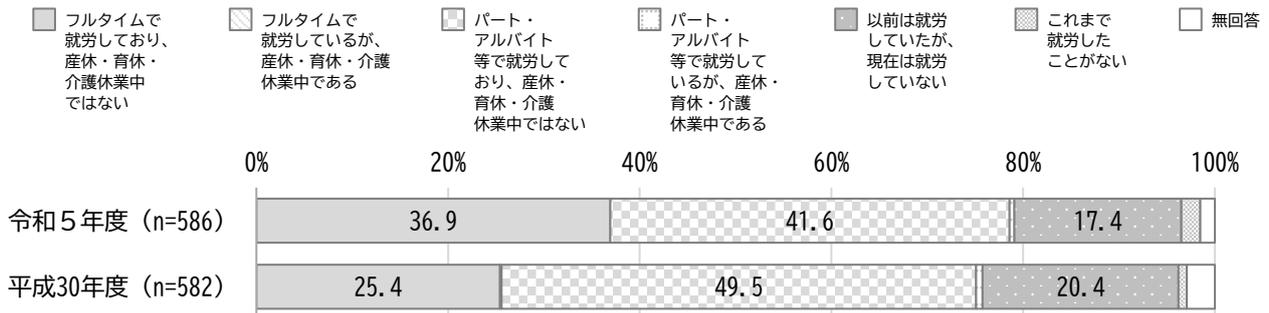
● 年齢 (令和5年4月1日現在)



B. お子さんの保護者の就労状況について

● お子さんの保護者の現在の就労状況

母親の就労状況について、「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が 41.6%と最も高く、次いで「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が 36.9%となっています。

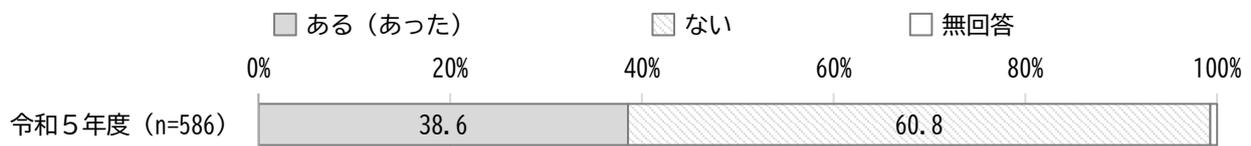


※「C. 子どもの権利」は10ページに記載

D. 子育て全般について

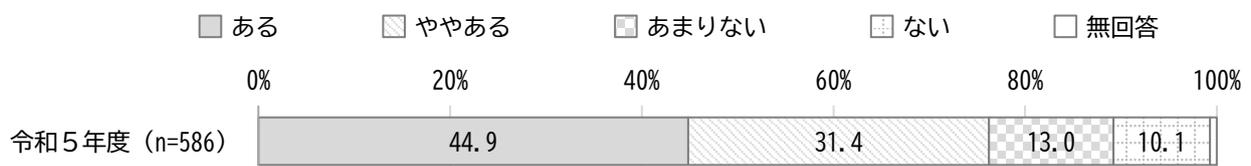
● 子どもから「学校に行きたくない」と言われたことがあるか

子どもから「学校に行きたくない」と言われたことがあるかについて、「ない」の割合が 60.8%となっています。



● 子育て・教育にかかる費用負担への不安

子育て・教育にかかる費用負担への不安について、「ある」の割合が 44.9%と最も高く、次いで「ややある」の割合が 31.4%となっています。

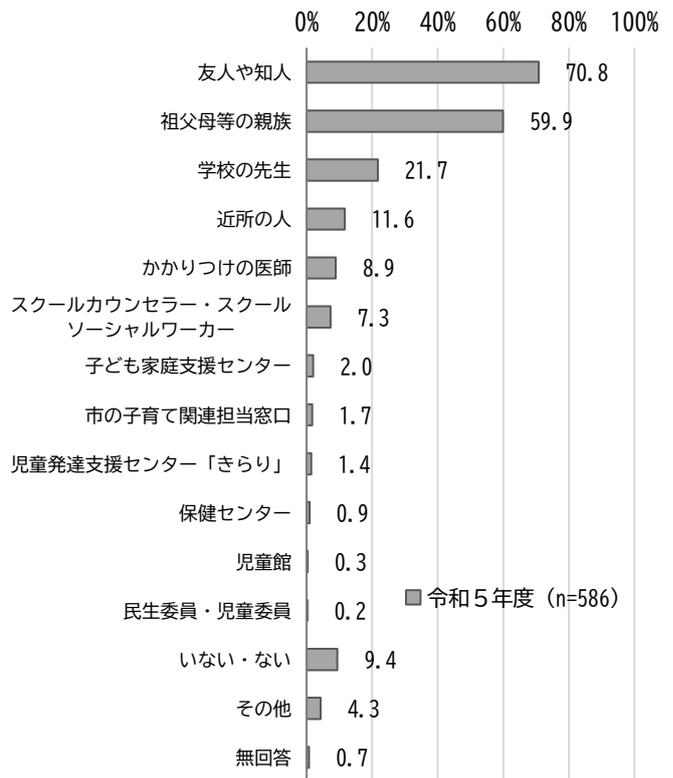


※一部設問は17、18ページにも記載

ウ) 中学校・高校年代の青少年の保護者調査

● 子育て（教育を含む）をする上での相談相手

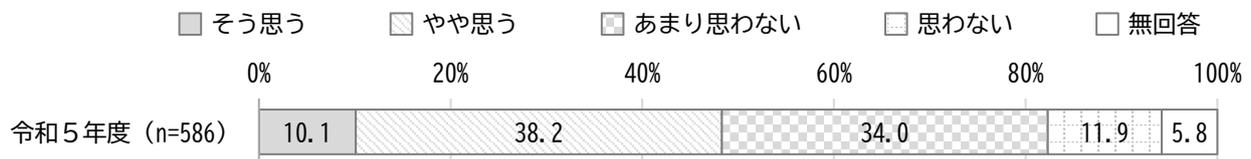
子育て（教育を含む）をする上で、相談できる人や場所があるかについて、「友人や知人」の割合が70.8%と最も高く、次いで「祖父母等の親族」の割合が59.9%となっています。



E. 小金井市の子育て環境や子育て支援施策について

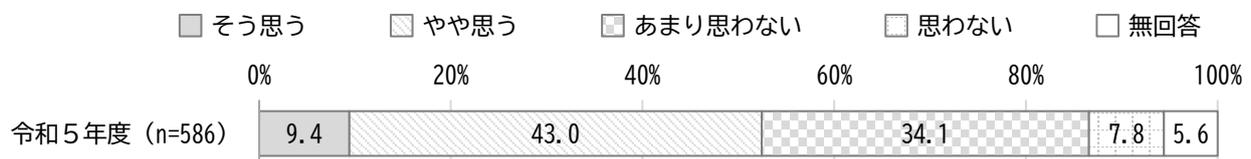
● 子どもがのびのびと遊べる環境が整備されているか

子どもがのびのびと遊べる環境が整備されているかについて、「やや思う」の割合が38.2%と最も高く、次いで「あまり思わない」の割合が34.0%となっています。



● 子どもが自然、社会、文化、芸術などの様々な体験をしやすいか

子どもが自然、社会、文化、芸術などの様々な体験をしやすいかについて、「やや思う」の割合が43.0%と最も高く、次いで「あまり思わない」の割合が34.1%となっています。

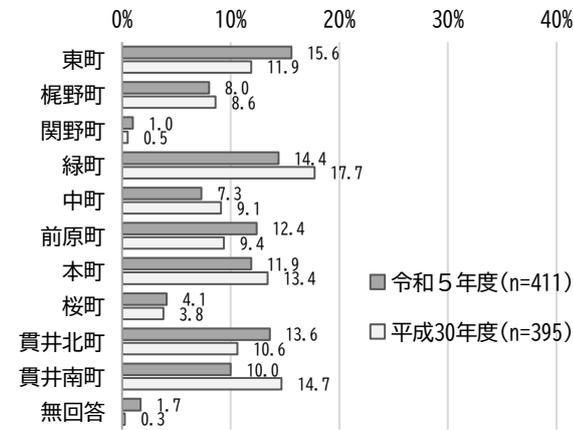


※一部設問は18ページにも記載

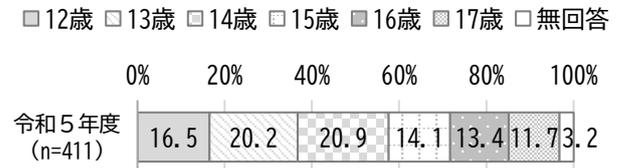
工) 中学校・高校年代の青少年本人調査

A. 回答者属性

● お住まいの地区



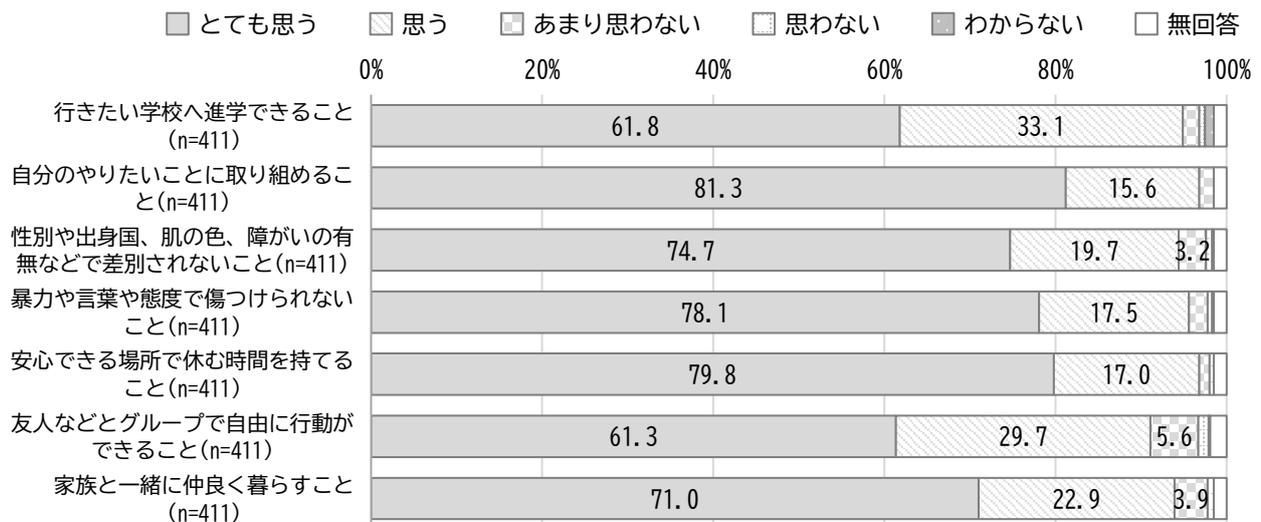
● 年齢（令和5年4月1日現在）



B. 考え方について

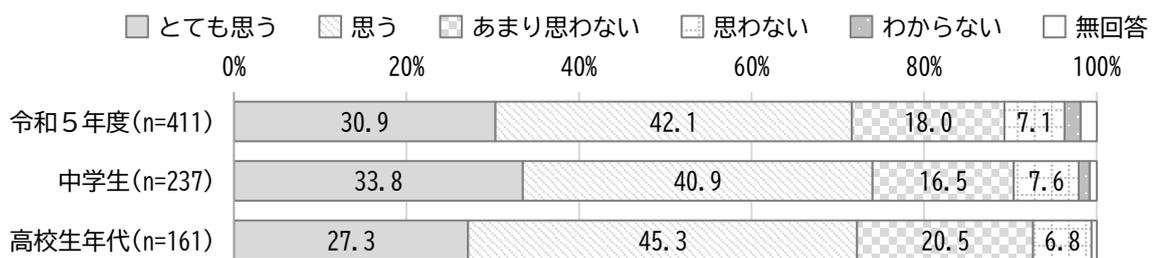
● あなたが大切だと思うこと

「とても思う」が最も多いのは「自分のやりたいことに取り組めること」、次いで「安心できる場所で休む時間を持てること」となっています。



● 自分のことが好きか

自分のことが好きかについて、「思う」の割合が42.1%と最も高く、次いで「とても思う」の割合が30.9%となっています。中学生と高校生年代で分けて集計すると、「とても思う」割合は、中学生のほうが高いことが分かります。

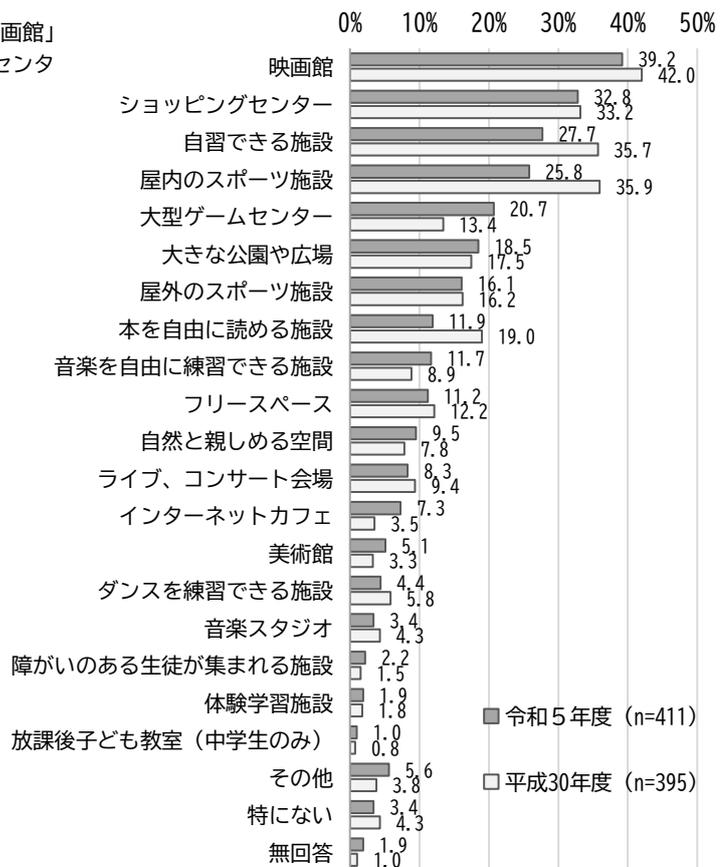


工) 中学校・高校年代の青少年本人調査

C. 放課後や休日の過ごし方について

● 放課後や休日を過ごすのに、家の近所にあるうれしい施設や遊び場

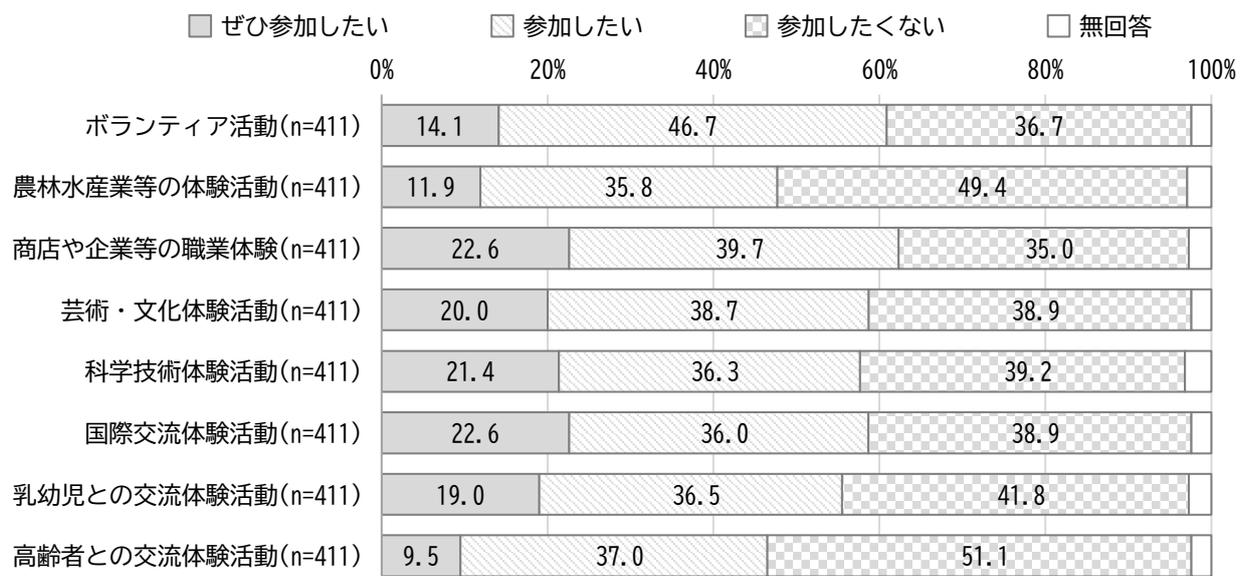
放課後や休日を過ごす施設や遊び場について、「映画館」の割合が 39.2%と最も高く、次いで「ショッピングセンター」の割合が 32.8%となっています。



D. 体験の機会について

● 参加したいと思う体験の機会

「ぜひ参加したい」と「参加したい」を合計した割合を見ると、「商店や企業等の職業体験」が最も高く、次いで「ボランティア活動」となっています。



E. 将来のことについて

● 夢の有無

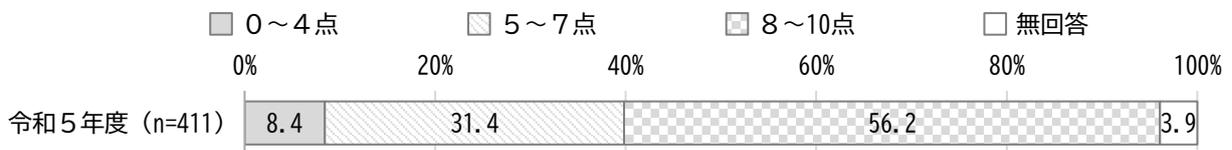
将来の夢について、「ある」の割合が52.3%となっています。



F. 幸せについて

● 幸福度の点数 (0～10点)

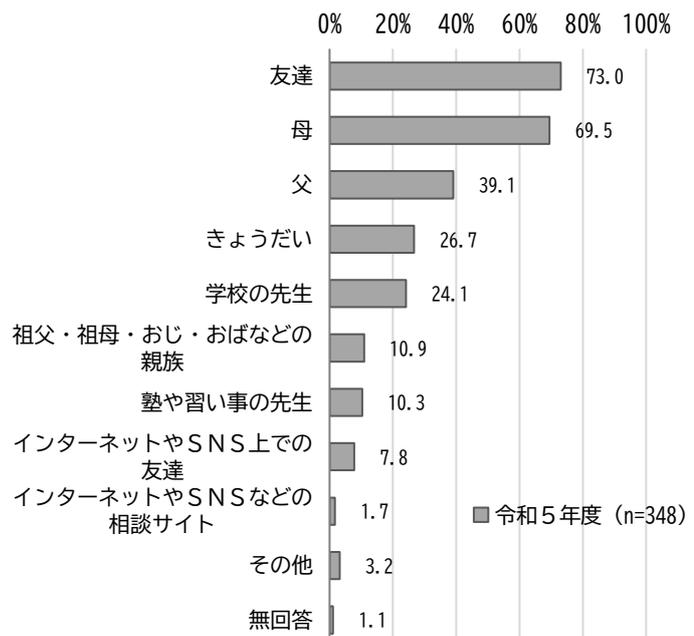
あなたの幸福度について、「8～10点」の割合が56.2%と最も高く、次いで「5～7点」の割合が31.4%となっています。



G. 困ったときの相談について

● 困ったときの相談相手は誰か

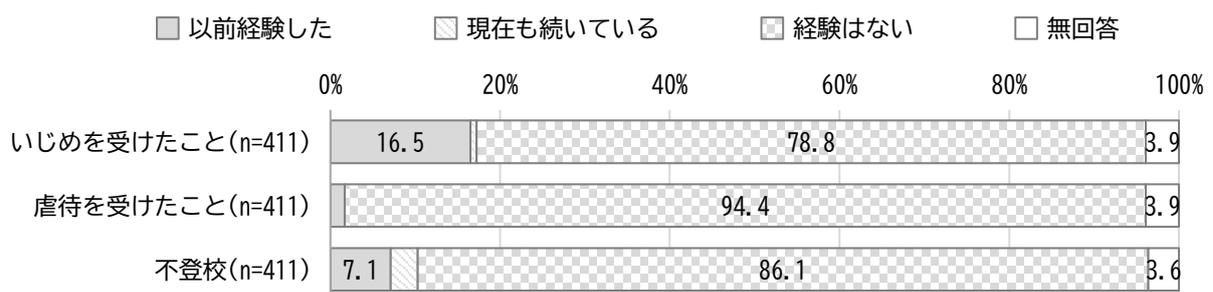
困ったときの相談相手について、「友達」の割合が73.0%と最も高く、次いで「母」の割合が69.5%となっています。



H. いじめや虐待などについて

● いじめや虐待、不登校の経験

「以前経験した」の割合は、「いじめを受けたこと」が最も多く、「虐待を受けたこと」は最も少なくなっています。



※「I. 子どもの権利について」は19ページに記載

工) 中学校・高校年代の青少年本人調査

J. ヤングケアラーについて

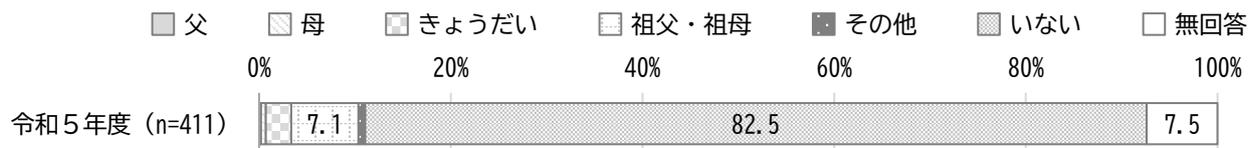
● ヤングケアラーという言葉を知っているか。

ヤングケアラーを知っているかについて、「はい」の割合が61.6%となっています。



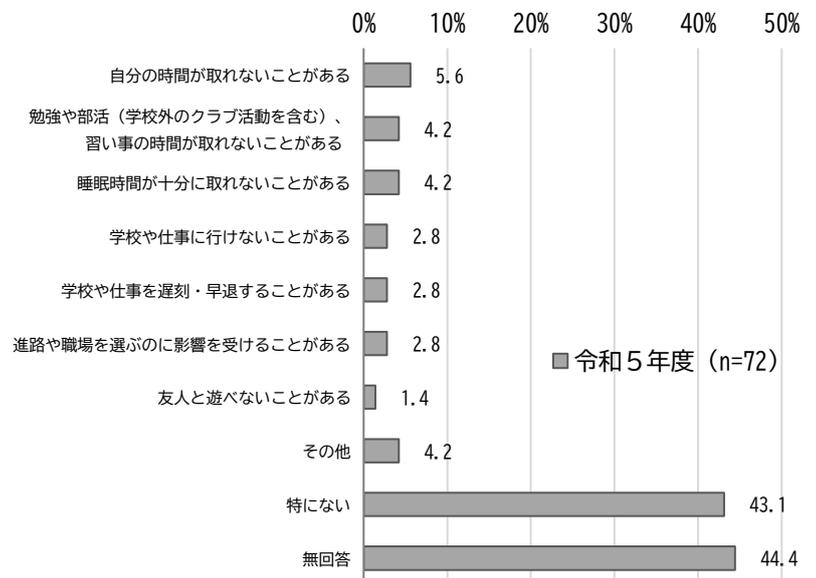
● 家族にお世話が必要な人がいるか

家族にお世話が必要な人がいるかについて、「いない」の割合が82.5%と最も高く、次いで「無回答」の割合が7.5%となっています。



● あなたに起こっていることについて

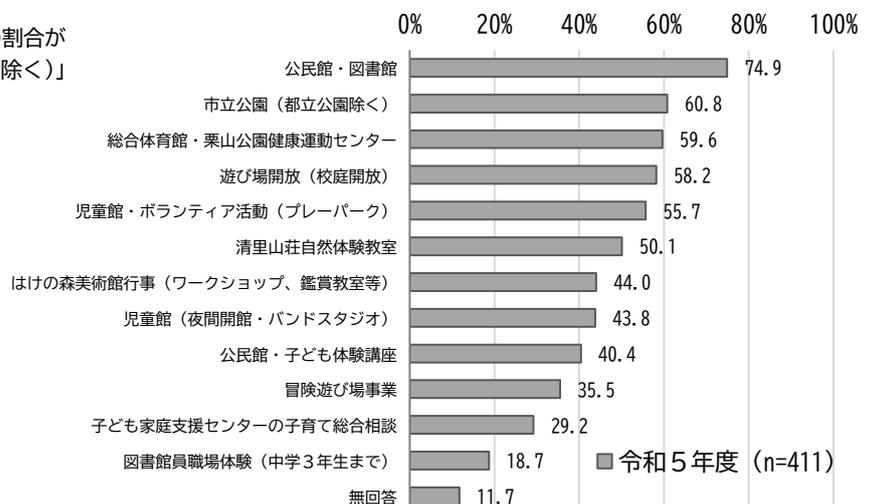
あなたに起こっていることについて、無回答を除き「特にない」の割合が43.1%と最も高く、次いで「自分の時間が取れないことがある」の割合が5.6%となっています。



K. 市の施設等について

● 知っている市の施設

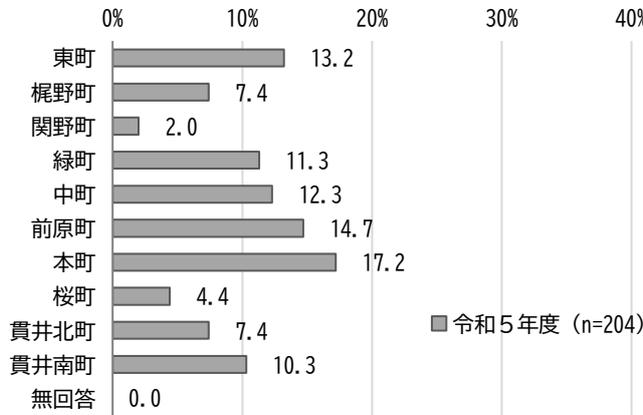
各事業の認知度について、「公民館・図書館」の割合が74.9%と最も高く、次いで「市立公園(都立公園除く)」の割合が60.8%となっています。



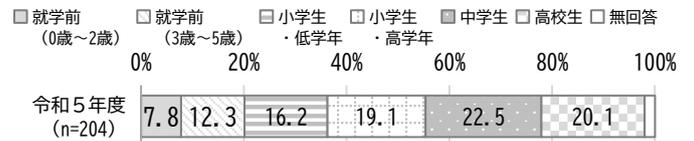
オ) ひとり親家庭の保護者調査

A. 回答者属性

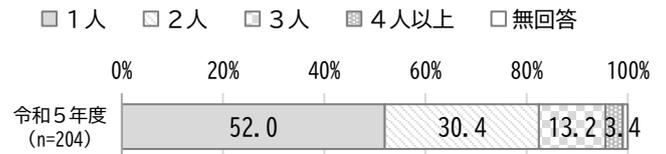
● お住まいの地区



● 年齢 (令和5年4月1日現在)

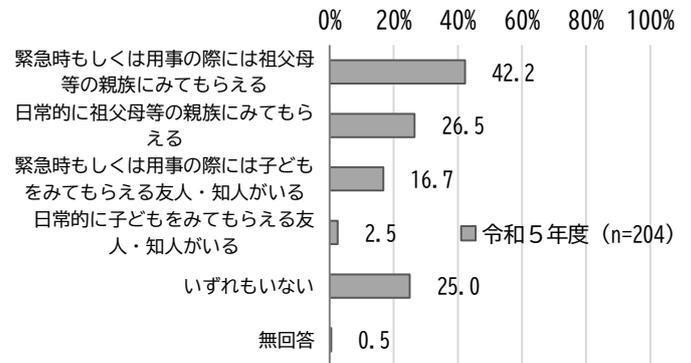


● きょうだいの人数



● お子さんをみてもらえる親族・知人がいるか

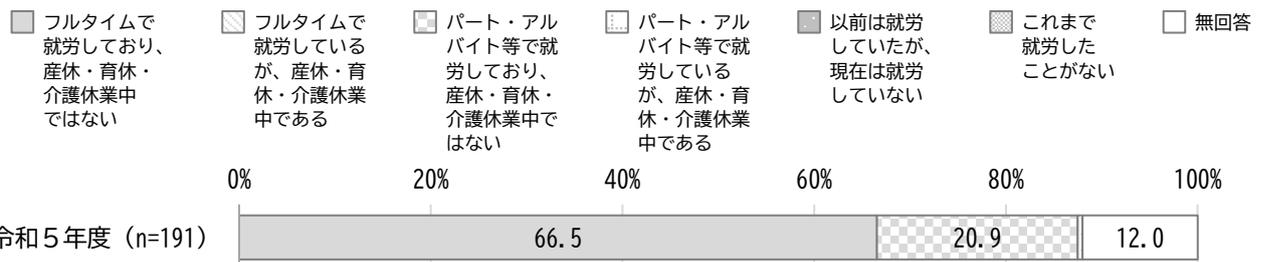
お子さんをみてもらえる親族・知人がいるかについて、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が42.2%と最も高く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が26.5%となっています。



B. お子さんの保護者の就労状況について

● 母親の就労状況

「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が66.5%と最も高く、次いで「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が20.9%となっています。

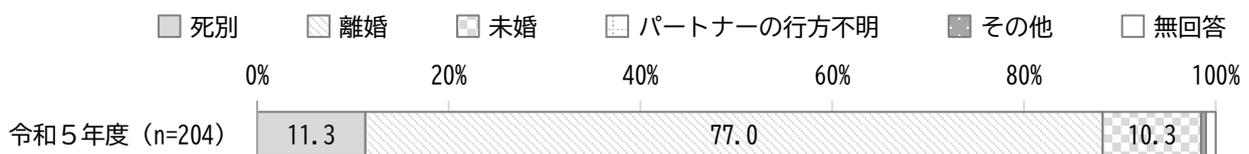


※「C. 定期的な教育・保育事業の利用状況」は概要版では省略

D. ひとり親家庭の経緯について

● ひとり親になった理由

ひとり親になった理由について、「離婚」の割合が77.0%と最も高く、次いで「死別」の割合が11.3%となっています。

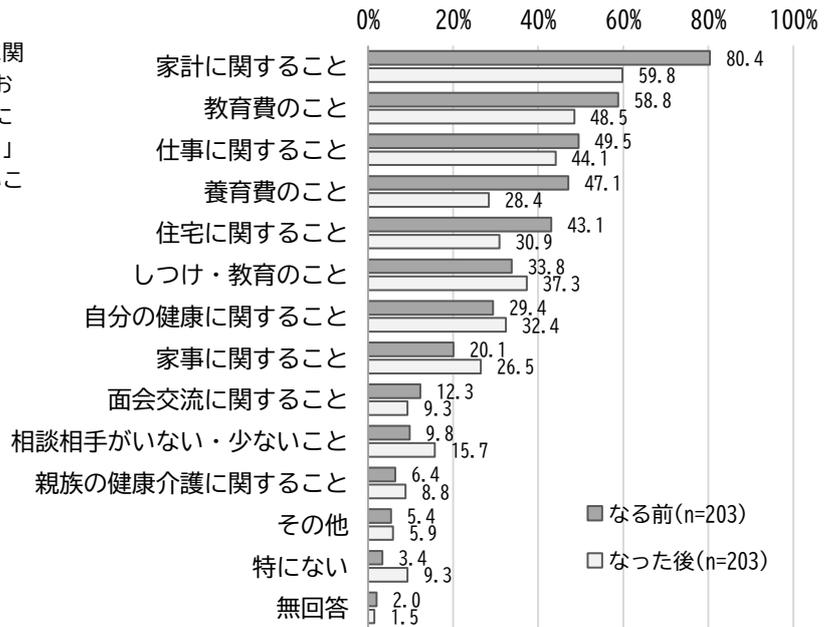


E. ひとり親になってからの状況について

● ひとり親になる前と後の心配

ひとり親になる前と後の心配について、「家計に関すること」「教育費のこと」「養育費のこと」などお金にまつわる心配事は「なる前」の方が高く、逆に「しつけ・教育のこと」「自分の健康に関すること」「家事に関すること」「相談相手がない・少ないこと」などは「なった後」の方が高くなっています。

※「F. 支援制度」は概要版では省略
 ※「G. 子育て全般」は18ページに記載

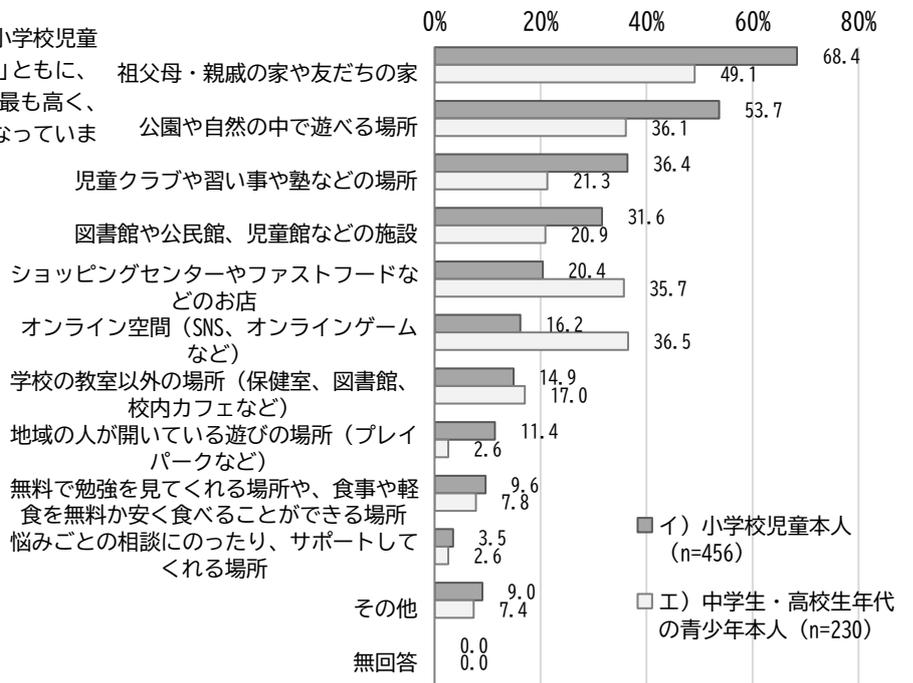


共通設問（対象者間比較）

1. 居場所について（小学校児童本人と中学生・高校生年代の青少年本人共通）

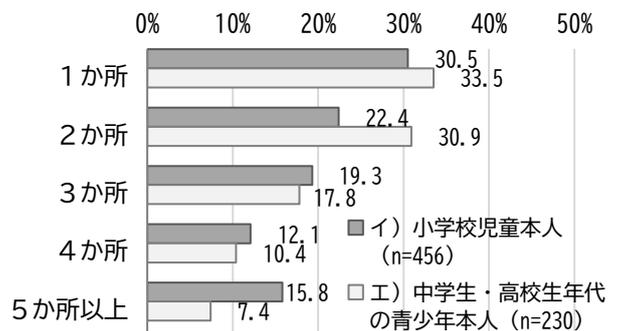
● ここに居たいと思う場所について

ここに居たいと思う場所について、「イ）小学校児童本人」「エ）中学生・高校生年代の青少年本人」とともに、「祖父母・親戚の家や友だちの家」「祖父母・親戚の家や友達の家」の割合が最も高く、次いで「公園や自然の中で遊べる場所」となっています。



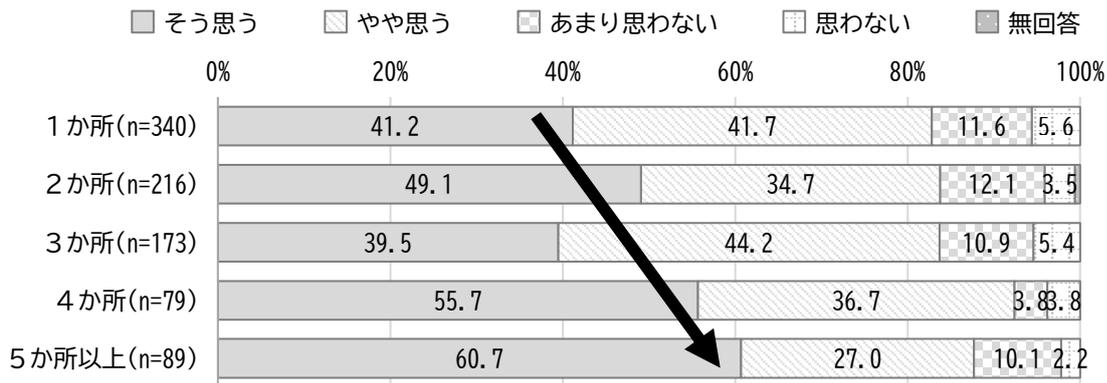
● 居場所の数について

上記設問で、1人の回答者が選択した数を「居場所の箇所数」として集計すると、右記のような結果となりました。



● 自分のことが好きかについて（居場所の箇所数でクロス集計）

「そう思う」の割合は、居場所の箇所数が多い方が、割合は高い傾向があります。



※nが小さいため、「イ）小学校児童本人」「エ）中学生・高校生年代の青少年本人」のnを合算した上で再集計しています。

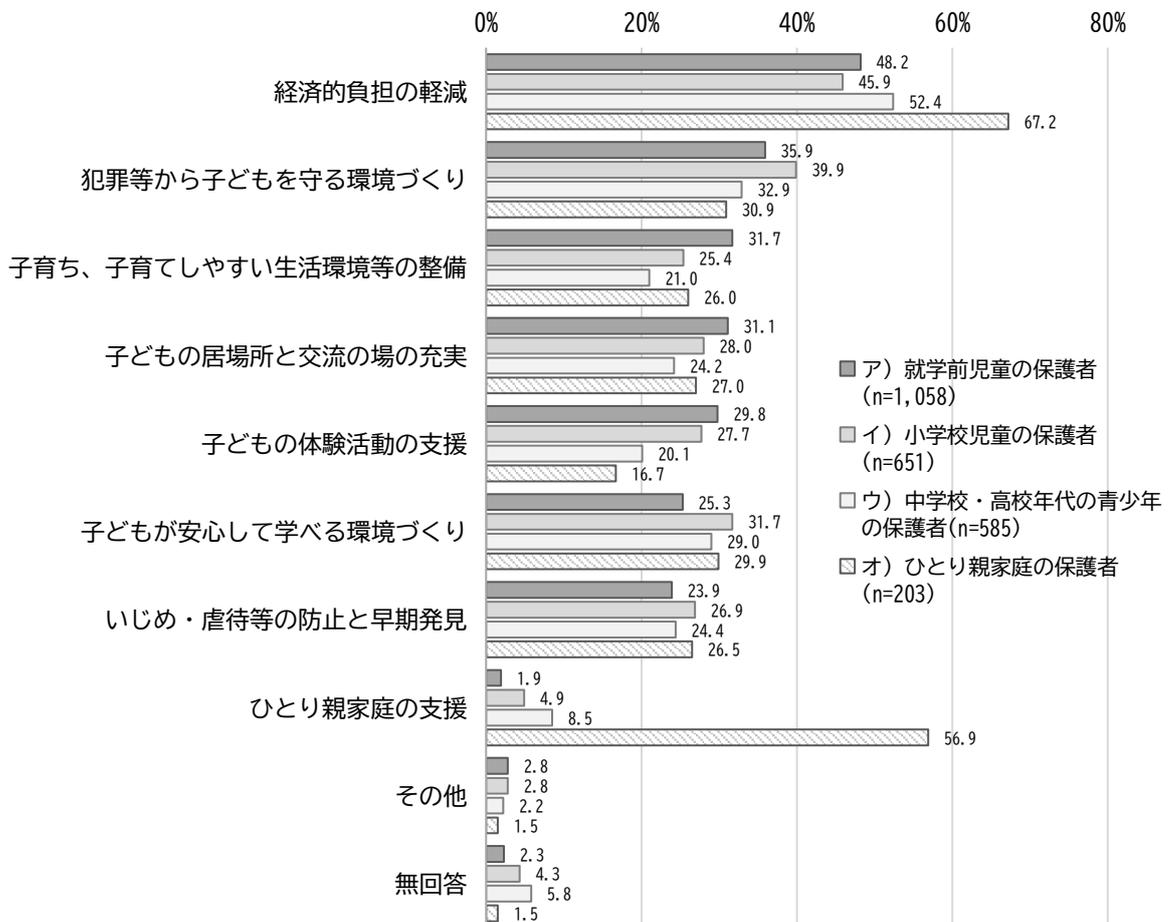
2. 小金井市の子育て環境や子育て支援施策について（保護者共通）

● 子ども・子育て支援に関して小金井市や地域で充実してほしいこと

「就学前児童の保護者」では、「子育て、子育てしやすい生活環境」「子どもの居場所と交流の場の充実」などが他の保護者よりも高くなっています。

「小学校児童の保護者」では、「犯罪等から子どもを守る環境づくり」「子どもが安心して学べる環境づくり」「いじめ・虐待等の母子と早期発見」が他の保護者よりも高くなっています。

「ひとり親家庭の保護者」においては、「経済的負担の軽減」「ひとり親家庭への支援」などが他の保護者よりも高くなっています。

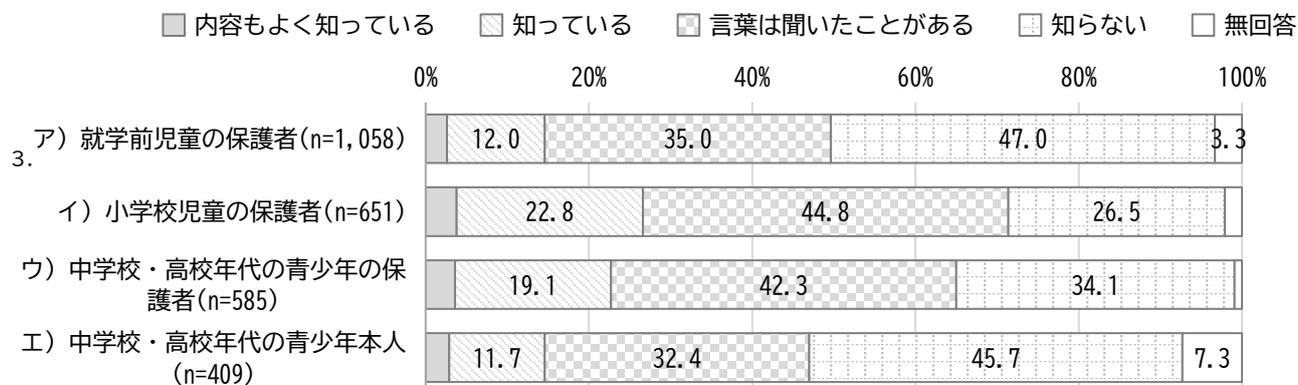


※項目が多いため、一部表示していません。

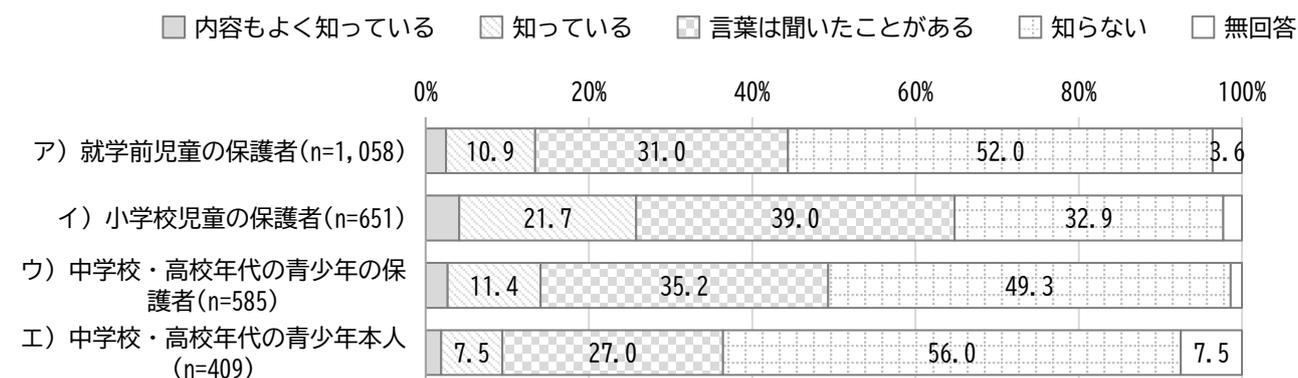
3. 子どもの権利について（対象者共通）

「小金井市子どもの権利に関する条例」および「子どもオンブズパーソン」を「内容もよく知っている」「知っている」を合計した割合は、両者とも「イ）小学校児童の保護者」が最も高くなっています。

● 小金井市子どもの権利に関する条例を知っているか



● 子どもオンブズパーソンを知っているか



小金井市子ども・子育て支援に関するニーズ調査 報告書

概要版

令和6年3月

発行 小金井市 子ども家庭部 子育て支援課

〒184-8504 東京都小金井市本町六丁目6番3号

TEL : 042-387-9836 (直通) FAX : 042-386-2609